

救急総合診療科 研修プログラム【必修】

1. 期間：初期臨床研修医 1 年目～2 年目終了まで
2. 診療科の特徴
 - 1)二次救急指定病院
 - 2)指導者：スタッフ 4 名(2022 年 10 月時点)
専門医/指導医/資格：
病院総合診療特任指導医，救急科専門医，日本透析医学会専門医・指導医
日本腎臓学会専門医・指導医，日本泌尿器科学会専門医・指導医
日本集中治療医学会 ICD(Infection control Doctor) 等
 - 3)救急外来受診者数(2021 年度)：10772 件，うち救急車 3363 件
 - 4)研修部門：救急センター，病棟，HCU，外来，手術室
 - 5)研修領域と内容
 - ① 救急初期診療(救急車は 1.5 次～2.5 次症例が主体、また外傷初期診療を含む)
 - ② 急性期病棟での全身管理・臓器別マネージメント
 - ③ HCU/集中治療管理
実症例：重症呼吸不全に対する人工呼吸器管理，昇圧剤及び循環補助装置を用いた循環管理，蘇生後脳症に対する低体温療法，重症熱中症に対する体内/体外冷却 急性腎障害に対する緊急透析/CHDF 管理，高血糖緊急症に対する血糖管理
その他術後管理含めた集中治療管理全般
 - ④ 感染症診療全般
 - ⑤ 内科/総合診療外来診療
 - ⑥ 地域包括ケア病棟診療(慢性疾患の管理，退院調整カンファレンスの参加等)
 - ⑦ 手術室(シャント増設等)

■ 紹介内容

当科はこの 2022 年 4 月に立ち上がりました。当科の特徴として、軽症～重症まで対応する救急初期診療、他科のサポートを含めて全身管理・臓器別マネージメントを行う急性期病棟診療、HCU における集中治療管理、感染症診療全般、地域包括ケア病棟管理、その他人工透析管理に至るまで、ホスピタリスト(病院総合診療医)として幅広い領域を網羅する診療体制を敷いています。また当科所属の医師の多くは、初期・後期研修医教育に携わってきた経歴を有しており、豊富な臨床経験とエビデンスに基づいた医学教育を提供します。また研修医の先生方が主治医に近い立場で責任感と主体性を持って診療が行えるよう、研修終了まで我々が責任を持ってサポート致します。将来的に総合診療の道を考えている方だけでなく、初期研修中に全身管理の基礎を身につけた上で専門へ進みたいと考えている方にとっても、間違いなく有意義な研修になると考えています。